

## 平成 27 年度第 2 回知立市総合教育会議議事録

審 議 日 時	平成 27 年 8 月 20 日（木） 13：30～14：56			
審 議 場 所	第 1 会議室			
出 席 者	市 長	教育長	蔭山委員	竹内委員
	宇納委員	太田委員		
事 務 局	企画部長 教育部長 企画政策課長 教育庶務課長 生涯学習スポーツ課長 文化課長 企画政策担当 教育庶務担当			
議 題 1	総合教育会議について			
議 題 2	その他			
司会	<p>定刻となりましたので、只今より平成 27 年度第 2 回総合教育会議を開催します。</p> <p>5 月 14 日に開催いたしました第 1 回の総合教育会議におきましては、総合教育会議の設置要綱を決定いたしました。設置要綱に関しましては、お手元に資料 4 号としてお配りいたしましたのでご確認ください。また、会議録につきましては、委員の皆様にご確認いただいた後、直ちに知立市ホームページにて、公開をいたしております。</p> <p>本日の会議は、前回に続きまして、知立市教育大綱（案）についてご審議いただきます。</p> <p>それでは、これより、議長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。</p>			
市長	<p>それでは早速、議題 1、教育大綱についてに入ります。事務局から説明願います。</p>			
事務局	<p>それでは、説明をさせていただきます、お手元にあります資料 1 号の知立市教育大綱（案）をご覧ください。</p> <p>まず、知立市教育大綱（案）といたしましては、4 本の柱を掲げたいと思います。1 つ目にたくましく生き抜くために、知・徳・体の調和のとれた教育を進めます。2 つめにふるさとを愛し、ゆめと希望をもって、より良い社会を形成する人材を育成します。3 つ目が、自立・協働・創造の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築します。4 つ目に、新しい文化・芸術の創造と、伝統文化や文化財の継承を進めます。</p> <p>以上の 4 つですが、次に資料 2 をご覧ください。第 2 期教育振興計画および知立市第 6 次総合計画との整合性について、どの内容が合致しているか示しております。</p> <p>この資料の通り、それぞれの計画と整合性がとれた内容となっております。また、資料番号 3 号をご覧ください。4 本の柱がそれぞれ想定しております教育の基本的な方針が、総合計画のどの項目と関連しているかを詳細に示しております。</p> <p>これらを参考に、知立市教育大綱（案）を策定していくことを検討しております。</p>			
市長	<p>この案は私のほうから作成させていただきましたが、どのような思いで作成したか、6 点説明させていただきます。まず 1 つ目は、第 6 次知立市総合計画との整合性を図ることを念頭に置きました。2 つ目に、国の第 2 期教育振興計画とも整合性を保</p>			

	<p>たなければならないと考えました。3つ目には、教育の詳細な施策は総合計画に記されていますので、教育大綱としましては大きな方向性を示していこうと考えました。</p> <p>4つ目としては、4～5年間の知立市の教育の羅針盤のような形を目指しました。5つ目としまして、郷土愛、未来志向を盛り込むことの必要性も感じておりました。</p> <p>6つ目としまして、学校教育、生涯学習、スポーツ学習、文化振興の観点も重要であると考えました。</p> <p>そして、再度4本の柱を確認してもらいたいのですが、それぞれ今説明した6点を意識しているわけですが、①の柱に関しましては、学校教育の基本方針について記載しております。②の柱に関しましては、知立市の求めるべき人材像を示しております。3の柱に関しましては、知立市の目指すべき社会像を示しております。4の柱に関しては、文化・芸術の創造と継承の決意を示しております。</p> <p>以上を留意点として補足させていただきました。皆様より、忌憚の無いご意見、ご指導を賜りたいと思います。</p>
教育長	<p>今回初めて教育大綱を作るということで、どの程度の要素を盛り込むか、例えば既にある計画を大綱に置き換えるか、大綱の文字通り、大きな柱を掲げるのか、というところだと思いますが、私としては、市長の示した案の通り、大きな方向性を示した柱を掲げるということが大綱の形ではないかと考えます。詳細については、総合計画に具体的に示されているので、併せて市の教育の大きな方向性が示されればよいのではないかと考えます。</p>
蔭山委員	<p>教育大綱は、憲法のような大きな基本的な枠組みが、市民に示されればいいのではないかと思います。さらに総合計画等と矛盾していなければいいのではないかと思いますので、柱を掲げる形にすることには賛成です。</p>
太田委員	<p>市長の意見を伺いたいのですが、教育とは年齢に関係ないものまで含めてどのように考えていますか。</p>
市長	<p>大綱に示すとおり、理想的な人間像としては、ふるさとを愛し、夢と希望と人を思いやる心を持った人間を育成していきたいと考えています。</p>
竹内委員	<p>教育の方向性は4～5年間ということにこだわらず、長期的な方向性を示したほうがよいのではないのでしょうか。</p>
教育長	<p>教育大綱は、市長が教育行政への思いを反映させ、策定するものであると考え、市長の任期が4年ですので、それに合わせて4～5年の期間について策定していくという文部科学省の例示も理解できますし、市長が継続すれば、その際に見直し、もしくは大綱も継続してもいいでしょうし、市長が変われば、大綱の本質的な部分は変わらないとしても、改めてその思いを大綱に込めるために見直しを行うこととなるものだと考えます。</p>

<p>蔭山委員</p>	<p>教育大綱と総合計画の位置付けについて、教育大綱は、教育の分野に限って言えば、市の計画として総合計画よりも上位計画であるべきで、例えば説明にあった、総合計画と教育大綱の関連性について考えますと、本来は既存の計画に拘束されることなく策定された教育大綱に基づき、その具体的計画として総合計画の教育分野が策定されるような形であるべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>総合計画は、市政についての包括的な計画なので、教育大綱と必ずしも重複しなければいけないものではないと思います。また教育大綱を基本としてそれを総合計画に落とし込んで行くという考え方については今後、協議すべきであると思います。ただ、今回この教育大綱については、そういった点の検討よりも、4本の柱を掲げたものを大綱にしようという思いで作成しております。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>どちらを基礎として計画を立てるかという点は非常に重要なことだと思っていて、総合計画に合うような教育大綱を作りたいという発想には、ならないとは思いますが、確認をしておきたかったということです。</p>
<p>宇納委員</p>	<p>大綱の4つの柱について、気になった点として、主語がわかりにくい印象を受けました。たとえば、1つ目の柱には教育について、2つ目の柱は人間像について、というような点を明確にしたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。3つ目の柱については、3つの理念と、生涯学習社会がどのように結びつくかが不明瞭だと感じました。4つ目の柱につきましては、新しい文化・芸術の創造という言葉がありますが、創造というものはもとより新しい概念を含んだ印象を受けますので、「新しい」という言葉が重複しているように感じます。また、自由、平和、平等、民主という理念を、大綱に入れられないかという思いがあります。もう一つ、これからの人材育成について、幅広い視野を持つという意味から、国際化、情報化の点にも触れられればと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>大綱を作成する上で、念頭に置きたい点は、だれにでも分かりやすいものを作りたいという思いです。ご指摘のように、より分かりやすい条文の検討という点で、ほかにご意見はございませんか。</p>
<p>蔭山委員</p>	<p>1つ目の柱についてなんですが、「生き抜くために」、という表現よりも「生きるために」としたほうが悲壮感を感じないのではないのでしょうか。2つ目に関して、「夢と希望と」という部分が、どこを修飾しているのかが分かりにくいと思います。もし「社会のための」という言葉にかかるのであれば、「ふるさとを愛し、人と思いやる気持ちを持って、夢と希望のある社会…」としたほうが良いと思います。3つ目の柱に関して、「3つの理念」という言葉がありますが、大綱全体が、理念を示すものであるもので、その文の中にさらに理念という言葉を用いる必要はないのではないかと思います。4つ目の柱は、「創造」という概念には、</p>

	<p>「新しい」という意味が含まれているので、「新しい」という言葉はいらないのではないのでしょうか。もう一つ、は「伝統文化や文化財…」という表現についてですが、伝統文化には文化財を含んだ言葉だと思いますので、これを省き、さらに「文化の継承」ではなく、「文化の尊重」という言葉にするというのはいかがでしょうか。</p>
太田委員	<p>一つ目の柱に関して「生き抜く」という表現がありますが、生き辛い世の中をいきるのではなく、生きることは楽しいことだという思いが伝わる表現に変えられたらいいと思います。</p>
竹内委員	<p>平和についての表現や、いじめ問題に対応した表現をいれるべきでないでしょうか。</p>
宇納委員	<p>日本固有の自治、という観点から、例えば平和について、戦争教育の中で正しい歴史を認識してこれからの社会を作り上げていく、というような視点も必要なんではないかと思います。また、日本人の精神性について、今は日本人よりも外国人のほうがよく知っていたりしますが、それも教育として加えていくことができればと思います。</p>
教育長	<p>生きる力の大切さは、学校教育においても長年言われてきていることですが、最近さらにそれを進め、生き抜く力の大切さを教えていく必要性まで踏み込んだりもしています。生きることの楽しみという観点は、2つ目の柱の、夢や希望、の部分に表現できているのではないかと思います。歴史教育という点では、4つ目の柱の、伝統文化の大切さを教えることで、2番目の柱の、ふるさとを愛する心を伝えることで、理解いただけるのではないかと思います。精神性については、表現できていないので、検討すべきかと思いましたし、命の大切さという観点については知・徳・体、そして、人を思いやる心という表現に含まれているのかなと思います。また、3つの理念という表現については、省いても意味は通るのかと思います。</p>
蔭山委員	<p>自由・平等・平和・民主という言葉は、確かにその通りですが、よく聞く言葉であり、知立独自の表現方法が何か別にあればそちらのほうがよいかと思います。</p>
市長	<p>夢と希望という言葉がどこへかかるかという点ですが、私としては、夢をもち希望をもち、人を思いやる心を持った人材を育成したい、そういう思いでしたが、ご指摘にあったような、夢と希望のある社会という表現もいいと思います。</p>
蔭山委員	<p>「ふるさとを愛し」「夢」「希望」という表現は、言葉が多いのではないのでしょうか。ふるさとを愛する心とは、すなわち4つ目の柱の文化の記述にも通ずるとこ</p>

	<p>ろがあるので、4つ目の柱にまとめて表現するというのはどうですか。</p>
太田委員	<p>「夢と希望と思いやりのところをもって」という表現にすると、人をおもいやるだけでなく、すべての生物に対する思いやりの意味も含まれるのではないでしょうか。</p>
市長	<p>歴史認識について、歴史を学び、平和を大切にする、という視点はいかがでしょうか。</p>
蔭山委員	<p>歴史という言葉が、大綱に入るとなると、市長の歴史観について問われるかと思います。</p>
市長	<p>歴史観という視点ではなく、歴史を学び、平和を守る、維持するという視点があってもいいのではないか、という発想です。</p>
宇納委員	<p>これからの教育は、開かれた教育という意味では、国際化、情報化という視点が必要かと思われます。</p>
市長	<p>1つ目の柱にある記述も、そのような視点を包括しているともいえると思いますが検討が必要とも感じます。知・徳・体は教育のさまざまな問題を包括しており、解決しなければならない詳細な問題は、検討しだすと際限がないとも言えます。</p>
蔭山委員	<p>なかなか、市民に、その包括されている、という思いは、視覚的には伝わらないのかとも思います。</p>
竹内委員	<p>今回の案のような、柱を掲げるだけでなく、詳細な説明を加えてもよいのではないかと思います。</p>
教育長	<p>今回の大綱の策定にあたり、そこにどれだけのものを載せていくかということは重要な要素だと思いますが、例えば他市町村の中には一つの例として、柱と解説という形のものもあります。事務局が把握されている例はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>さまざまですが、柱だけで無く、解説も含めた大綱も一定数あるかと思います。</p>
市長	<p>大綱として採用する形は、次回総合教育会議までに検討しておきたいと思います。</p>
太田委員	<p>生き抜くという表現がやはり気になり、暗い印象をうけるので、生きることが楽しいことだという、そのような意味に捉えられることが望ましいのではないかと</p>

	<p>と思います。</p>
蔭山委員	<p>そうですね、悲壮感を感じてしまうように思います。</p>
宇納委員	<p>いわゆる受験戦争の時代のような、競争の激しい社会を生きなければならない、そんな印象を受けてしまいます。また、郷土愛という点では、知立市民は郷土愛のあるほうだと思いますし、それをさらに育んで行きたいという観点は非常に大事なんだと思います。</p>
市長	<p>自然に、いいまちだなと思える、環境、安全があり、きめ細かな教育をしていく、うれしい体験のたくさんある知立だと思ってもらえればいいのではないかと思います。</p>
蔭山委員	<p>3つ目の柱にあります、生涯学習の記述は、学校教育にのみかかっているように思われますが、それだけではなく生まれてから亡くなるまで、という意味をこめる必要はあるのだと思います、それに関しては詳細な解説は必要かと思います。</p>
竹内委員	<p>これはポルトガル語訳をするのでしょうか、だとすると、「ふるさと」という記述は一体どこを指すのか、これを考える必要もあるかと思います。</p>
市長	<p>知立を否定されてしまうわけにはいきませんが、きちんと考えないといけない問題だと思います。</p>
蔭山委員	<p>知立が第1、もしくは第2のふるさとであるというような、個人のアイデンティティは尊重しつつも、知立愛というものも盛り込むといいのではないかと思います。</p> <p>また、全体として、知立市のために人材を育成する、というような視点になってしまっているような気がします。教育を受ける本人のための教育、という観点で記述できればいいのではないかと思います。</p>
市長	<p>主旨としましては、あくまで、教育を受ける本人のための教育、それは基本的な考えとしてあるかと思います。記述に関しては、そのような基本的な考えが分かる形に変えていきます。</p> <p>その他、特に議題等なければ、事務局より、次回会議のご連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。次回総合教育会議は、10月8日木曜日、午後1時15分より、第9会議室を予定しております。よろしくお願いします。</p>